

# 医療安全セミナーにおける各セッションのねらい

## 学習目標:

1. ヒューマンファクターズを踏まえた医療安全対策を実施できるようになる。
2. 専門職への効果的な教育アプローチについて理解を深める。
3. 医療チームのパフォーマンスを向上するための教育を行えるようになる。
4. 組織の安全文化を醸成するための具体的な方法を理解する。
5. 医療安全及び質に関する国際的知見や最新の動向を理解する。

(敬称略)

## 1日目:7月1日(火)

### 10:05~10:10 本セミナーの位置づけ

講師:大阪大学医学部附属病院中央クオリティマネジメント部 部長 中島和江

- ◆ 本セミナーにおける学習目標を理解する。

### 10:10~10:40 医療人養成のための取り組み

講師:文部科学省高等教育局医学教育課 課長 袖山禎之

- ◆ 医療人の育成等、大学病院を取り巻く諸課題や文部科学施策について学習する。

### 10:40~11:20 医療事故調査制度の創設に向けて

講師:厚生労働省医政局総務課医療安全推進室 室長 大坪寛子

- ◆ 医療事故調査制度創設に向けた最新の動向について学習する。

### 11:20~14:30 専門職への効果的な教育アプローチ

座長:自治医科大学附属病院医療安全対策部 教授 長谷川剛

講演

#### 大人のまなびを学ぶ

講師:青山学院大学社会情報学部 教授 苅宿俊文

#### 演劇で医療安全コミュニケーションデザイン

講師:大阪大学コミュニケーションデザイン・センター 特任講師 蓮行

まとめ

講師:自治医科大学附属病院医療安全対策部 教授 長谷川剛

- ◆ 成人の学びの特徴を理解し、専門職に適した教育アプローチ方法について学習する。

14:50～16:50 ノンテクニカルスキルを発揮するための実践

座長: 信州大学医学部附属病院 脳血管内治療センター長 准教授 長島久  
講演

看護職の育成とノンテクニカルスキル

講師: 北里大学病院 看護部長・副院長 別府千恵

医療チームにおけるノンテクニカルスキル

—手術安全チェックリストの導入と運用—

講師: 大阪大学医学部附属病院手術部 部長 南正人

服薬指導から患者支援へ 3☆ファーマシストを目指せ!

講師: 国立病院機構京都医療センター臨床研究センター予防医学研究室 研究員 岡田浩

◆ 医療におけるノンテクニカルスキルの実践例とその教育方法について学習する。

## 2日目:7月2日(水)

9:00～10:00 暴言・暴力の対応案

座長: 大阪大学医学部附属病院医事課 課長 松本光弘

講師: 群馬大学昭和地区事務部 事務部長 原忠篤

◆ 暴言・暴力への適切な対応について学習する。

10:10～12:00 International Forum on Quality & Safety in Healthcare 2013, London

Remote Participation Program – Improve Quality, Reduce Costs, Save Lives –

国際医療の質・安全学会 2013 第4回遠隔地参加プログラム

～質の改善・コストの削減・健康の向上～

座長: 大阪 A & M 法律事務所 医師・弁護士 小島崇宏

大阪大学医学部附属病院中央クオリティマネジメント部 部長 中島和江

特別コメンテーター: 東京大学大学院医学系研究科医療安全管理学 特任教授

新星総合法律事務所 弁護士・医師 児玉安司

講演(ビデオ)

The Mid Staffordshire Inquires: Lessons for Healthcare

ミッドスタフォードシャイア NHS の事故調査からの教訓

講師: Robert Francis QC ロバート・フランシス(勅選弁護士)

◆ 医療の質と安全に関する国際的な共通課題への理解を深める。特に、海外の専門的な事故調査事例を教材に、その制度およびプロセスについて学習する。

13:00～14:10 安全文化構築に向けた JR 東日本の取組み

座長: 大阪大学医学部附属病院 副病院長 樂木宏実

講師: 東日本旅客鉄道株式会社鉄道事業本部安全企画部 部長 渡利千春

◆ 巨大組織における安全の目標設定や、トップの理念を現場の具体的な実践につなげる方法について、世界最大規模の鉄道会社の取り組みから学習する。

14:30～16:35 医療安全へのレジリエンスアプローチ ～うまくいっていることから学ぶ～

座長: 福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター 教授 橋本重厚

早稲田大学理工学術院創造理工学部経営システム工学科 教授 小松原明哲

講演

医療安全へのレジリエンスアプローチ ～うまくいっていることから学ぶ(Safety II)～  
イントロダクション

講師: 大阪大学医学部附属病院中央クオリティマネジメント部 部長 中島和江

【機長の訓練審査における最新の取り組みに学ぶ】

Instructional Systems Design を用いた Competency Based Training の実現

講師: 日本航空株式会社運航本部運航訓練審査企画部基準室

室長補佐 767 機長 片桐潔志

訓練プロセスと結果を可視化するためのシステム構築とデータ活用の実際

講師: 日本航空株式会社運航本部運航訓練審査企画部基準室 767 機長 和田尚

- ◆ 「レジリエンス・エンジニアリング」の基礎的な理論を学習する。特に、日常業務の「うまくいっていること」から学び、「平常時でも想定外の状況においても、行うべき業務を遂行できる個人・チーム・組織の能力」を高め、安全を推進する具体的な方法について理解を深める。